

第2回 五島市ごみ処理施設整備基本計画検討委員会 会議録 要旨

I 日 時 平成27年12月17日(木) 13:30～15:30

II 場 所 五島市役所 3階 第2会議室

III 次 第

- 1 開会
- 2 前回議事録の確認 【資料1】
- 3 メーカーアンケート結果の確認 【資料2】
- 4 審議
 - 1) 処理方式の比較評価 【資料3】
- 5 その他

IV 出席者(以下、出席者名簿)

(敬称略)

	氏 名	所属・役職
委員長	中村 國夫	生活環境課長
副委員長	朝倉 宏	長崎大学准教授水産・環境科学総合研究科
委員	東條 一行	総務課長
	出口 秀幸	財政課長
	針崎 善英	建設課長

V 欠席者

なし

VI 事務局出席者

五島市生活環境課 太田課長補佐、臼井係長、吉原係長
株式会社エイト日本技術開発 森、江藤

VII 議事録(要旨)

1. 前回議事録の確認
 - ・前回議事録を確認した。再度見直して提出することとなった。
2. メーカーアンケート結果について
 - ・メーカーアンケート調査概要及び調査手順・結果について確認した。
 - ・調査依頼13社、回答を得たのは7社であることを確認した。
 - ・C社の建設費が突出して高いこと、焼却残さ量がB社のみ少ないことなど、次年度において詳細検討を要することを確認した。

- ・H25 ごみ処理基本計画時と比較して現在においては、全国的に建設費が高騰している状況も踏まえ、今回の見積金額も高くなっていることを確認した。
- ・焼却、堆肥化、リサイクル等の各処理方式及び最終処分場の建設可否等、各方式における建設費、維持管理費等を総合的に比較することが必要との意見が出された。

3. 審議

(1) 処理方式の比較評価

- ・ストーカ方式に決定した根拠を確認した。
- ・基本的な条件である狭小敷地内への設置、排ガス基準の達成等について、どのストーカ方式においても問題ないことを確認した。
- ・但し、近年の資材単価や労務費の高騰や離島による割増も重なり、建設工事費が高騰している状況にあるため、性能を担保しつつコストダウン等を図るなど、経済性も踏まえてメーカーアンケート結果による問題点をよく吟味し、今後の要求水準書等に反映することで解決出来ることを確認した。

4. その他

- ・第1回委員会の議事録は精査するよう意見が出された。
- ・第3回委員会は1月28日（木）に開催とする。